

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

ももちの世界 第5回公演『ハルカのすべて』出演者募集

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターの企画運営にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、神戸アートビレッジセンター（KAVC）では、「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」参加劇団ももちの世界による出演者募集ワークショップを開催する運びとなりました。

当センターでは、2019年より、新たな演劇シリーズとして、関西から新しい演劇や舞台作品が飛び立つことを期待し、気鋭のカンパニーに公演の場を提供することを目的とした「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」を開催いたします。

本企画では、関西を拠点に意欲的な作品を発表している7劇団を選出し、2019年6月から2020年2月の期間に、当センターにて公演を行います。本公演を前に、参加劇団の1つであるももちの世界による公演『ハルカのすべて』の出演者募集ワークショップを開催することとなりました。

報道関係者の皆様におかれましては、ご多用中とは存じますが、この機会にご周知および告知にご協力をいただけましたら幸いです。今後とも、本事業へのご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。 敬具

《KAVC FLAG COMPANY 2019-2020》ももちの世界 第5回公演『ハルカのすべて』出演者募集

【出演者募集ワークショップについて】

日時：①2019年4月12日(金)18:00～22:00 ②2019年4月13日(土)14:00～18:00

参加劇団：匿名劇壇、THE ROB CARLTON、KING & HEAVY、コトリ会議、壱劇屋、ももちの世界、プロテアトル

会場：神戸アートビレッジセンター KAVCホール

料金：参加無料

募集人数：12名(年齢性別経歴等不問)

※どちらか参加可能な日程をお選びいただき、お申し込み下さい。※定員になり次第、募集を締め切らせて頂く場合がございます。

(やむを得ない事情により遅れる場合は1時間までなら可。事前にわかっている場合はその旨をあらかじめお知らせください)

申込み：件名に「ももちの世界ワークショップ」とし、お名前／年齢／性別／電話番号／参加日時をご記入の上、以下のアドレスまでお申し込みください。劇団メールアドレス：momochinosekai@yahoo.co.jp(ももちの世界)

(ご質問等は神戸アートビレッジセンターではなく、ももちの世界までお願いいたします。)

【対象公演・稽古について】

◆公演名：ももちの世界第5回公演 『ハルカのすべて』

公演時期：2020年2月6日(木)～2月9日(日) 予定

公演場所：神戸アートビレッジセンター(KAVC)

稽古開始日：2019年10月～

10月 週2回／夜18:00～22:30

11月 週3～4回／夜18:00～22:30

12月 週5回／夜18:00～22:30

1月 週5回／夜18:00～22:30

2月 週5回／夜18:00～22:30

※出演者のスケジュールを確認後、稽古の日時を決定し、お知らせいたします。(年末年始はお休み、下記日程はあくまでも予定です)

稽古場所：大阪市立芸術創造館ほか(※稽古は、大阪で実施予定)

チケットノルマ：なし(チケットバック有り)



ももちの世界 (c) 松田ミネタカ

本事業に関するお問合せ：神戸アートビレッジセンター（担当 竹下）

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

演劇・ダンス事業『KAVC FLAG COMPANY 2019 - 2020』

開催趣旨

出演者募集にあたって

ピンク地底人3号氏

《KAVC FLAG COMPANY 2019-2020》参加劇団 ももちの世界主宰

初めまして。ももちの世界で作・演出を務めますピンク地底人3号と申します。

この度、ももちの世界は2019年6月から神戸アートビレッジセンター(KAVC)で始まる「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」(舞台芸術プログラムディレクターウォーリー木下氏セレクト)に参加する事になりました。

そこで今回はまだ見ぬ俳優の皆様と出会いたく、出演者募集をさせていただきます。

本作『ハルカのすべて』で私は都市の「音」を舞台上に載せたいと思っております。

普段、我々は周囲の音を無意識に選別しております。車の音、電車の音、洗濯機の音、鳥の鳴き声等、毎日のように鳴っているはずの音を実は我々は全く聞いておりません。

今回はそれらの「音」を見逃していると仮定します。

見逃された音を拾い上げる事で我々の日常を全く別の形で持って提示できればと思っております。

主人公はハルカです。ハルカは都市を歩きます。そして都市によって奏でられた音がハルカの心象風景を描き出します。

ハルカはまた我々の鏡でもあります。都市の音がハルカの身体で反射し、世界(我々)を変えていく、そんな作品になる予定です。

ここで全てを説明するのは難しいので気になる方は是非、ワークショップにご参加ください。

ピンク地底人3号プロフィール

2009年同志社大学文学部文化学科美学芸術学専攻卒。ピンク地底人3兄妹の長男。2015年「ももちの世界」を結成。元納棺師である経験を生かし「生」と「死」の中間を描くことに執着している。

2010年『その指で』で第11回AAF戯曲賞最終候補、2017年『黒いらくだ』で第23回劇作家協会新人戯曲賞最終候補、2018年『わたしのヒーロー』で第6回せんだい短編戯曲賞大賞を単独受賞、『鎖骨に天使が眠っている』で第24回劇作家協会新人戯曲賞を受賞。

